

## 18. アメリカ在住記 追記 - 1

今日、地理上、世界史上、あるいは組織的なアメリカを知ろうと思えば、今や百科事典があり、インターネットがあり、歴史書から情報を得る事は困難な事ではなくなった。更にリアルタイム的な情報も僅かな英語の知識で CNN, Washington Post, New York Times, 等の報道はインターネットや TV program でも可能になった。加えて小樽ジャーナルは小樽市の核心たる情報をもたらしてくれるから有意義である。特に私はこの小樽ジャーナルを通して読者の多くが把握出来なかったアメリカを紹介出来る事を光栄に思っている。

日本とアメリカは比較する事は容易な事ではない。地理的に、歴史的に、そして人文科学的に大きな隔たりがあるからである。まず言語が異なる。習慣が異なる。人生観が異なる。そして民族が異なる。これらの隔たりを縮小し、対等にお互いを理解し、尊敬し、受け入れ合う事は至極の技である。私は不完全な日本人として渡米し、43年の年月をアメリカ人として生きた。しかし日本人の姿でアメリカ人になろうとしたが所詮不可能であったし、諦めた結果が日本への永久帰国となったのである。

アメリカの合理主義には『わび』も『さび』もなく実に空虚なものと言われる。果たして空虚であろうか？『人情』は確かに欠けている。全ての分野に『人情』は欠けている。しかし言える事はアメリカ人は如何なる富豪家であったとしてもアメリカの組織を私物化出来ない。それは国民との契約の上で国家が成り立ち、その中に組織が存立しているからである。したがって政権交代が成ったとしても、日本の様に大きな変動が起きない。私が一アメリカ人として見る日本は、かつてのマッカーサー元帥が言ったように、日本は国際的な国家としては視野が狭く、特に政権交代では大きな変動に対する計画準備が不十分であったと判断している。

日本に帰国して不可解な事の一つに日本語化した英語である。こじ付けが激しくきちんとした日本語があるのに何故英語の単語を使うのか、更には英語の発音から似つかない日本語にしてしまっている事である。聞いていて不自然に感じるのだ。例を挙げると：

『美味しいお菓子をゲットした』は『美味しいお菓子を買いました』ではダメですか？  
『ナウイ表現』は『今流行の表現』ではダメですか？

次は日本の Media の問題であるが、

『レーガン大統領』の発音はどうひねっても『リーガン大統領』とすべきであった。

又私は前述の体験記でオーストラリアやニュージーランドで話される英語はアメリカ標準英語と異なるところがあると指摘した。ここに例を挙げると：

『paper』は『パイパー』と発音するが、アメリカ標準英語は『ペイパー』と発音する。  
『state』は『スタイト』と発音するが、アメリカ標準英語は『ステイト』と発音する。  
『heavy』は『ヒーヴイ』と発音するが、アメリカ標準英語は『ヘヴイ』と発音する。

勿論、アメリカで話される英語だけが英語ではない。アイルランド、スコットランド、イギリスで話されている英語はそれぞれ特徴を持っている。アメリカ国内ですら多くの方言がある。しかし、日本の中学校、高校の英語教育では少なくともアメリカ標準英語が主体となっている。私がオーストラリアやニュージーランドで話される英語について指摘する理由は、小樽、後志地区にはオーストラリアやニュージーランドから来ている人達が多く在住しているからである。

私は又アメリカ人とは言語的な相違があると前述した。勿論英語と日本語の違いは当然であるが、発想法にも異なりがある事に気がついた。例えば誰かがテーブルから茶碗を床に落として、その茶碗がわれたとしよう。『あっ！茶碗がわれた！』と叫ぶのが日本人。『あっ！茶碗をわった！』と叫ぶのがアメリカ人。日本人は必然的にまず不可抗力の為だとする。アメリカ人は落としたのは自分であるのだから罪を認めるのである。不可抗力、つまり神のせいにするのが日本人である。それが一番無難であるのだが、言語的に日本人の性格が誤解されそうである。

私はアメリカ在住中、家では必ず靴を脱いで暮らした。今はアメリカでも家では靴を脱ぐ習慣がつつある。これは自然な成り行きである。日本の家は平均して小さいが、それは仕方がない。アメリカの一般の家庭にないものでこれは良いと思ったのは日本の深い風呂である。アメリカにはない。あの浅いアメリカの tub (風呂) では体が温まらないのである。真似を好まないアメリカ人、これが浸透するまでは 50 年はかかるだろう。日本の玄関もアメリカの普通の家屋ではないものの一つである。ではアメリカの家では何処に靴を置くかと云うと bed (ベッド) の下である。

更に加えると、俗に云う『ウオッシュレット』はアメリカの一般家庭では見られない日本で発達した便座である。英語訳は多分 "washlet" と書くだろうが未だ英語化されていない。約 50 年も前にアメリカから輸入した "bidet" (ビディ) が日本で改良されたものだ。この『ウオッシュレット』は良いものだが、アメリカでは最高級ホテルでないと見られない。少なくとも 2 年前までは中流家庭の新築家屋にも未だ入っていなかった。これから浸透しつつある日本商品である事は間違いない。

又、アメリカ在住中、日本人として残念に思った事も数多くあった。その内の一つは日本人の知名度が非常に低い事である。日本が世界有数の工業国である事は誰でも知っている。しかし日本人とは？となると日本人の Identity がないのである。日本をかって訪問した事のあるアメリカ人は多い。日本について記憶にある事を尋ねると、まず日本人は清潔である事、次に電車などの公共交通機関の発着時刻一完璧！である事、そして何処へ行ってもサービスは抜群、と言う。しかしながら日本人そのもの、性格などがアメリカ人には理解されていないのである。日本の映画も紹介されているがごく僅かである。その中で、何故赤穂浪士の『忠臣蔵』が紹介されないのかが不思議であった。私の主観ではあるが『忠臣蔵』の物語は日本人気質を代表する唯一の映画であると思う。

私が在米中良くやっていた事で日本では出来なくなった事もある。その一つは Radio Talk Show に参加する事である。これはラジオ放送の番組で知名度の高いホストが一般

視聴者から直接電話で政治問題等に関する声を聞き生放送で応答するのである。この反響は大きい。大統領声明、話題の議員発言問題、教育問題など、話題の範囲は限らない。多分トヨタの米議会での公聴会に関しても多くの市民が各々の声を生放送で響かせた事と想像している。選挙戦時期になると自分の番が来るまではかなりの時間を待たねばならない。新聞への投稿とか寄稿では自分の意見が掲載される率はかなり低い、この Radio Talk Show では自分の出番が殆ど 100%に近いから、自分自身の意見を公に拡散するのは持って来いの機会であるのだ。

又、日本の Media、特に TV 放送は誇張して事を騒ぎ過ぎる感がある。特に昨今のブタ風邪 (H1N1 タイプ A) 報道にはあきれ果てた。統計的に他の流行性感冒 (タイプ B) の情報も平行して報道したならば、市民もそれほどあせる事もなかっただろうにと想像している。これは結果論ではない。2009 年 6 月、このブタ風邪流行中、私は家族 (親戚) 5 人でフロリダ州・カリブ海クルーズ旅行の出発寸前であった。この内の一人がこの大げさな報道の為に成田空港で隔離されると騒ぎ出し、キャンセル寸前までになった。私はアメリカのフロリダ州、ワシントンの友達から最新情報を求めて、本人をなだめ、旅行を敢行した。結果ではあるが、私達は一人としてマスクも使用せず、病にもかからず無事日本へ帰国した。このブタ風邪報道で欧米諸国は日本を非常識国民国家として笑ったのだ。この為、日本のマスク製造会社は何億円と云う膨大な利益を上げたのだ。最後に Media がからんでいたと思ったのは私一人ではなかった筈だ。又日本の Media は『個人情報』と云う単語に異常なほどに過敏である。TV ニュースで情報提供者の顔も見せず、声も変えての報道に私は全く価値評価出来ない。アメリカではそんな事は滅多にしない。その様な不明なる Identity の証言はニュースにならないからである。

私が帰国後日本の TV ニュースによる第一のショック話を紹介したい。それは夫婦が離婚し、結果として母子家庭になり、その子供の養育費を国が支払う、と云うニュースだった。このニュースに私はど肝を抜かした。国民の税金が何故父親又は夫の尻拭いをしなければならないのか？日本の母子家庭の提議が不明確でしかも追加料まで国が支払うと言うのだ。父親は何処に行ってしまったのであろうか？アメリカでは父親は離婚後の責任から逃れる事は出来ないから、私の必然的な疑問である。又、義務教育でもない高校の授業料を国家が支払うと言う。しかも高校生を持つ親に直接支払うと言うのだ。私は日本の政治家の幼稚さに困惑している。私の主観であるが、日本の政治家たちは余りにも下々なる庶民の生活を把握していないと思う。